



2023~2024年度
国際ロータリーテーマ



UEDA EAST

上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT

MAY.29.2024 第2104回

会長/上原 達 幹事/松山賢太郎 会報委員長/玉井権太郎

例 会：毎週水曜日 午後12:30 ~1:30

会 場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

U R L : <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>
E-mail : uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

「和菓子を愉しむ」

世界に希望を生み出



千野菓子店 代表取締役

千野 雅芳様

「五感で楽しむ和菓子」

「和菓子は五感で楽しむという表現は和菓子の世界や個性をよく表現した言葉です。御承知の通り五感とは、視覚、味覚、嗅覚、聴覚、触覚です。すべての食べ物に共通ですが、和菓子を前にしたとき、まず感じるのを見た目の印象です。「おいしそう」はもちろん、和菓子はその見た目です。四季のうつろいを視覚的に伝えてくれます。

次に触覚です。持ち上げたときの大福の柔らかさや、楊枝を入れたときの優しい手応えなどは、口に入れる前においしさを伝え、口に含んだときの噛み心地や舌触りなども触覚といえるでしょう。

味覚は言うまでもなく、その和菓子の美味しさです。

嗅覚は、和菓子の「ほのかな香り」たとえば、米やきなこなど素材の香りに加えて「移り香」というものもあります。桜餅の葉をむくと、餅に独特の香り移っており、餅や餡の風味と合わさり絶妙な調和を生みだします。

最後に、最も関係がないように思える聴覚です。和菓子には、最中や羊羹という種類の名前のほかに「菓銘」というものが付いています。菓銘は、短歌や俳句、花鳥風月、地域の歴史や名所に由来することが多く、たとえば、秋につくられる柿の形をした煉切りに「初ちぎり」という菓銘が付けられることがあります。これは、江戸中期の俳人である加賀の千代女が詠んだ、『渋かか 知らねど柿の 初ちぎり』という俳句に由来しています。柿が渋いか甘いかは見た目ではわからない、実際に食べてみて初めてわかるということに、結婚前の不安な気持ちを重ねている歌ですが、このように単に和菓子を召し上がって頂くだけでなく、菓銘を知ることによって和菓子の楽しみもぐっと深まります。つまり、聴覚によって菓銘のもととなった和歌や俳句の心地良い言葉の響き、菓子に込めた職人の思い、またその土地にある名所旧跡などを感じていただくことができるのです。

「季節と和菓子」

旬の素材を使うことはもちろんですが、菓子そのもの

の中に季節感があるというのは和菓子の持つ大きな特徴といえます。日本ほど見事な四季に抱かれ、またそれを感じ取る文化を持つ国はありません。たとえば夏。風鈴のちりんちりんという慎ましい音色、打ち水をする習慣、絹の着物や浴衣。これら自体はさほど涼しくなくても、音や見た目ですら涼しさを感じようとする心が表わられています。夏になると葛を使った和菓子がつくられます。透き通った質感が水を思わせ見るからに涼しげですが、葛の菓子は冷やして食べるものではありません。葛はでんぷん質ですので冷やすと硬くなりますので、常温で食べてこそそのおいしさが味わえます。つまり、風鈴や打ち水と同じ、涼感を演出する感性が込められているのです。冷房を利かすよりも、その姿や風情から涼を感じとる。日本人が古くから大切にしてきた心の味わいのひとつといえるでしょう。

また、和菓子の季節感には「その季節だけにつくられる和菓子」と「季節を表現する和菓子」があります。

花びら餅や桜餅、柏餅、水羊羹、栗の菓子などが「その季節だけにつくられる和菓子」である一方、「季節を表現する和菓子」は、形や色合い、菓銘の響きで季節を表現し感じてもらう和菓子です。「きんとん」という菓子があります。そぼろ状にした餡をまぶしてまとめた菓子ですが、季節によって菓銘と装いが変わります。たとえば、春先の「芽吹き」という菓銘のきんとんは、白と若葉色のきんとんをまだらに配して、雪の下から新芽が萌え出る様子を表わし、梅の季節には赤と白で「此の花」を、11月には茶色に粉糖などを振り「初霜」…といった形で季節を表現します。こういう細工が美しい「きんとん」や「煉切り」

は、美味しさは当然として形や色合いで季節を感じて頂くことが目的ですので味は一年中変わりません。和菓子店をのぞいてみると、季節を表現した和菓子が短い期間で移り変わり、その多彩さ、感受性の豊さに驚かれるはずで



お持ちいただいた「きんとん」
菓銘は「七変化」
(アジサイを表わす)

- 司 会 石井公彦君
- 斉 唱 「我等の生業」
- ゲ ス ト 千野雅芳様(千野菓子店 代表取締役)
- ラッキー賞 工藤 恒君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 関 邦幸君(上原会長よりツルヤのジャムセット)



■会長挨拶

上原 達会長



同じ保険業界でありながら「ホショウ」の字が生命保険、損害保険、共済や商品によって使われている漢字が異なることをご存じでしょうか。

一つは「保障」、二つめは「補償」、三つめは「保証」。この3つの用語には、似ているようでまったく異なる意味があります。では「保障」「補償」「保証」の違いって何でしょう。

- ①主に生命保険や共済で使われる「保障」
- ②主に損害保険で使われる「補償」
- ③主に年金保険で使われる「保証」

すべて「ホショウ」と読みますが、それぞれの意味と主な使用例をご紹介します。

【保障】には、権利などを保護し、脅威に脅かされることなく安定した状態を保全するという意味があります。これは、生命保険でよく用いられます。

生命保険とは、生命に関わる事態を「保障」するものです。被保険者が亡くなった場合の死亡保障に加え、病気やケガをしたときの医療保障、要介護になった場合の介護保障などを含むこともあります。生命保険に加入していれば、予期せぬ事態に遭遇した場合にまとまった金額を受け取ることができ、家族の生活を守ることができます。このように、死亡などの不測の事態に備え、自分や家族を経済的な脅威から守って生活を保全するという意味で「保障」が使われます。

【補償】には、損害が生じたときにそれを補填し、埋め合わせるという意味があります。そのため、損害保険でよく使われます。

損害保険とは偶然のリスクによって生じた損害をカバーするための保険です。個人向けの損害保険には自動車保険や火災保険、地震保険、傷害保険などがあります。また法人向けの損害保険には企業財産の保険や賠償責任の保険、船舶・貨物・運送に関する保険などがあります。一定額の保険金が保障される生命保険とは異なり、損害

保険では損害額によって補償される金額が変わる「実損払方式」が中心になっています。このように生じた損害を埋め合わせるという意味で「補償」が使われます。

【保証】の意味は、間違いがないと約束し、責任を持つことです。これは、年金保険でよく使われます。

年金保険(個人年金保険)とは、保険の契約時に定めた年齢まで保険料を払い込んだ後、一定期間(もしくは一生涯)給付が受け取れる貯蓄型の保険です。国民年金や厚生年金といった公的年金とは異なり、自分で保険会社に契約を申し込むタイプの年金で、主にリタイア後の資金として活用されます。年金保険には、終身年金⇒年金を受け取る本人(被保険者)が生存している限り、一生涯にわたって年金が受給できます。有期年金⇒年金を受け取る本人(被保険者)が生存している限り、契約時に取り決めた一定期間、年金を受給できます。確定年金⇒年金を受け取る本人(被保険者)が生存している場合のほか、たとえ年金受取期間中に亡くなっても、契約時に取り決めた一定期間、年金を受け取れます。

終身年金や有期年金には「保証期間」がついた商品もあります。「10年保証期間付終身年金」などのことで、この場合、万が一被保険者が亡くなっても、保証期間中なら10年間の年金支払いを「保証」というものです。このように、将来支払われる金額を約束し、責任を持つという意味で「保証」が使われます。

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	47	20	—	57.45%
前々回	52	46	16	12	91.30%

ニコニコBOX (敬称略)

- 上原、遠藤、小田中、北村、工藤、倉島、後藤、小林、佐藤塩之入、白井、関、高野、滝澤、塚田、手塚(多)、浜野蓑輪、宮下(博)、母袋(創)、母袋(卓)、柳澤亨、山本、渡辺
 - ※上原 達君/千野さんようこそ。宜しくお願ひします。
 - ※遠藤隆幸君/千野様、スピーチ楽しみです。
 - ※塩之入永子さん/和菓子のお話、楽しみです!!
 - ※手塚多佳彦君/スピーチ楽しみにしています。
 - ※小田中讓君/午前中、高齢者講習受けました。夜間視力が大分劣っていました。
 - ※蓑輪佳明君/工藤先生、NHK東洋医学の未来を見ました。ぜひ針のお話を聞かせて下さい。
 - ※高野智宏君/スリープしてしまっていて、すみません。でも皆さん色々気遣って下さり、ありがとうございます。本当に感謝しています。
 - ※母袋卓郎君/昨日は本気の雨でしたが、台風1号はこれから接近。確かまだ5月でしたよね?
- 本日の金額/37,000円 累計/1,288,000円